



六中だより

～学校教育目標～

“ 学力と情操 ”

“ 健康と忍耐力 ”

“ 勤労と責任 ”

ゴールを目指して

校長 相馬 朋行

現在、将棋の王将戦（第72期 ALSOK 杯王将戦）7番勝負が行われており、第5局を終了した時点でタイトルホルダーの藤井聡太さんが挑戦者の羽生善治さんを3勝2敗でリードしています。第6局は3月11日（土）・12日に、第7局（最終戦）は3月25日（土）・26日（日）に行われます。

かつて絶対王者として将棋界に君臨した52歳の羽生善治さんと現在破竹の勢いで快進撃を続ける20歳の藤井聡太さんとの対局は将棋ファンの間では夢の対決として期待されていました。一方、デビューの時期が大きくずれていることもあり、この両者のタイトル戦は実現不可能ではないかとも考えられていました。しかし、対局に向けて並々ならぬ闘志を燃やす羽生善治さんが、王将戦挑戦者決定リーグで勝ち上がり、夢の対決がついに実現しました。この王将戦は、将棋界のスーパースター同士の対局ということで将棋を詳しく知らない人にとってもビッグイベントとして注目を集めています。

羽生善治さんは過去に永世七冠となり、国民栄誉賞を獲得した経歴があります。全盛期は過ぎましたが、当時の実力を知る多くの将棋ファンは、羽生善治さんの復活、そして藤井聡太さんとの対局を心待ちにしていたことと思います。また、私自身も羽生さんの著書「直感力（PHP 新書）」や「決断力（角川新書）」を読んで深い感銘を受けたことがあり、王将戦の対局を楽しみにしていました。第6局の結果もとても気になっています。

将棋は頭脳と頭脳の戦いです。相手の駒の動かし方を見て自分の駒をどのように動かしたら有利に展開できるかを考察する「先を読む力」が必要となります。それ以外にも、勝利するためにはたくさんの「力」が必要です。とくに王将戦などのタイトル戦では、長時間の対局になるので日頃の体調管理が必要となります。もちろん、当日の集中力、体力も極めて大事です。また、過去の対局で負けたことがあればそれを二度と繰り返さないために対局の様子を記憶しておくこと、つまり、記憶力も必要です。さらに、対局中にミスをしてしまったときは、いかにして挽回するかを熟慮するとともにあきらめずに対局を続ける強靱な精神力も必要となります。

前置きが長くなりましたが、ここから本題に入ります。生徒のみなさんは、これまでの学校生活の中で、様々なことに「挑戦」してきました。3年生にとっては高校受験合格に向けて精一杯の努力をしたことと思います。また、学校で行われる定期テストに向けて全校生徒が計画的に学習に取り組んできました。部活動やクラブチームに所属している人は大会に向けて練習に励んできました。そして、年度末の今、3年生は卒業式に向けて最後の学校生活を充実させ、1、2年生は進級に向けて今年度のまとめと来年度への準備を進めています。これらの取組には必ず目標（ゴール）がありますが、ゴールを目指して全力で走り抜ける（目標を達成する）には将棋の例のように様々な力が必要となります。

日本の学校は、①学問を学ぶ、②生活の仕方を学ぶ、③人間関係の在り方を学ぶ、という3つの目的で作られました。とくに、中学校の3年間は社会に出るために必要最低限の資質を身に付けるための重要な期間です。それぞれの場面で自分の力量をしっかり見極め、自分に合ったゴールを定め、目標達成に向けて努力をしてください。

4月からのみなさんの新しい生活に期待しています。

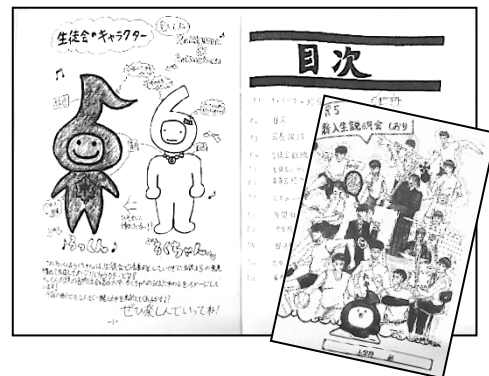
小学校に出張してきました！

生徒会

学年末テストが終わった2月27日の放課後、生徒会本部役員は学区内の小学校に中学校の説明にでかけました。残念ながら降雪により中止になってしまった2月の新入生児童説明会。12月から各委員会・部活動と協力して準備してきただけに、生徒会本部役員のメンバーはがっくりと肩を落としました。11月に予定していた部活動体験も小学校の学級閉鎖により中止だったということで、何とか小学生に六中のことを伝えたい！そんな気持ちから実現した小学校へのお出張でした。

当日は、しおりの説明に加えて活動の様子と本部役員が校内を巡るビデオを流しました。真剣な眼差しで部活動に取り組む先輩の姿と、専門的な教室が並ぶ校内の様子を見た小学生は、これから始まる中学校生活への期待に目を輝かせていました。質問コーナーでは、「校外学習はどこに行くのですか？」という質問に「鎌倉や浅草に生徒だけで武蔵野舎から行きます」と答えると、「バスじゃないんだ！」と小学生から驚きの声が上がりました。

会の終わり、副会長からの「ぜひ一緒に六中を作っていきましょう」というあいさつに、大きくうなずいた小学生。3年生の卒業が迫るこの時期、感謝の気持ちとともに少し寂しい気持ちになりますが、きっと新入生が六中の伝統を引き継いでいってくれることでしょう。



各委員会と部活動に協力してもらって作成したしおり。製本も多くの生徒が手伝いました。



しおりを手に、少し緊張した面持ちの本部役員。いざ、小学校に出発！



部活動紹介ビデオを見る小学生。中学生の迫力にびっくりです。



質問を受ける本部役員。部活に勉強に行事に、たくさんの質問は期待の表れですね！

●表彰●

3月8日（水）の生徒会朝礼で行われた表彰についてここで紹介します。

- ハンドボール部 東京都中学校ハンドボール新人大会 男子の部 準優勝 女子の部 準優勝
- スキー競技 第63回府中市民体育大会秋季大会 少年の部 大回転 第3位 1年1名
- 第76回八王子市民スポーツ大会 第1位 1年1名
- 北多摩地区公立中学校美術展覧会 入選 3年1名
- 府中市環境啓発ポスター 資源環境推進賞 2年1名
- 水道週間ポスター 日本水道協会賞 3年1名
- 人権作文コンテスト 作文委員会賞 2年1名 1年1名
- 多摩東人権擁護委員協議会長賞 1年1名
- 考えよう！ 私たちの快適な住まい(家庭科作品) 金賞 1年1名 銀賞 1年1名 佳作 1年1名
- 東京都公立学校美術展覧会 技術 3年2名
- 家庭 3年4名
- 美術 2年4名
- 体育優良生徒 3年2名
- 優良卒業生 3年2名